

參考資料

水質基準等及び試験方法一覧

1. 基準項目 (H15.5.30 厚生労働省令 最終改正R2.4.1)

項目	項目	基準値	単位	試験方法 ^{注)}	検水量 ^{注)}	試験成績表示方法	
						最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数
基	一般細菌	100以下	集落/mL	標準寒天培地法	1mL	0	2
	大腸菌	検出されないこと	-	(定性) 特定酵素基質培地法 (ピルビン酸添加Xgal-MUG培地)	100mL	検出せず	-
基	大腸菌	検出されないこと	MPN/100mL	(定量) 特定酵素基質培地法 (MMO-MUG培地)	100mL	<1.0 <1.8 *3	2
	カドミウム及びその化合物	0.003以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.0001 <0.0003 *1,2,3	3
基	水銀及びその化合物	0.0005以下	mg/L	還元気化-原子吸光度法	200mL	<0.00005	2
	セレン及びその化合物	0.01以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001	3
基	鉛及びその化合物	0.01以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001	3
	ヒ素及びその化合物	0.01以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001	3
基	六価クロム化合物	0.02以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.002	3
	亜硝酸態窒素	0.04以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<0.004	3
基	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01以下	mg/L	イオンクロマトグラフ-ホストラム吸光度法	1~2mL	<0.001	2
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<0.1 <1 *1,2 <0.2 *4	3
基	フッ素及びその化合物	0.8以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<0.05 <0.08 *1,2,3	2
	ホウ素及びその化合物	1.0以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.002 <0.1 *1,2,3	3
基	四塩化炭素	0.002以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0002	2
	1,4-ジオキサン	0.05以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.005	2
基	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.004 *1,2,3	2
	ジクロロメタン	0.02以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.002 *1,2,3	2
基	テトラクロロエチレン	0.01以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001	2
	トリクロロエチレン	0.01以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001	2
基	ベンゼン	0.01以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001	2
	塩素酸	0.6以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<0.01 <0.06 *1,2	2
基	クロロ酢酸	0.02以下	mg/L	溶媒抽出-誘導体化-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.002 *1,2	3
	クロロホルム	0.06以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.006 *1,2	2
基	ジクロロ酢酸	0.03以下	mg/L	溶媒抽出-誘導体化-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.003 *1,2	3
	ジブromクロロメタン	0.1以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.01 *1,2	2
基	臭素酸	0.01以下	mg/L	イオンクロマトグラフ-ホストラム吸光度法	1~2mL	<0.0005 <0.001 *1,2	3
	総トリハロメタン	0.1以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.01 *1,2	3
基	トリクロロ酢酸	0.03以下	mg/L	溶媒抽出-誘導体化-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.003 *1,2	3
	ブromジクロロメタン	0.03以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.003 *1,2	2
基	ブromホルム	0.09以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.009 *1,2	2
	ホルムアルデヒド	0.08以下	mg/L	溶媒抽出-誘導体化-GC/MS法	50mL	<0.008	3
基	亜鉛及びその化合物	1.0以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001 <0.1 *1,2,3	3
	アルミニウム及びその化合物	0.2以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.01 <0.02 *1,2	3
基	鉄及びその化合物	0.3以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.01 <0.03 *1,2,3	3
	銅及びその化合物	1.0以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001 <0.1 *1,2,3	3
基	ナトリウム及びその化合物	200以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<1.0	3
	マンガン及びその化合物	0.05以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001 <0.005 *1,2	3
基	塩化物イオン	200以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<1.0 <0.2 *3	3
	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300以下	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<1.0	3
基	蒸発残留物	500以下	mg/L	重量法	100mL	0	3
	陰イオン界面活性剤	0.2以下	mg/L	固相抽出-HPLC法	500mL	<0.02	2
基	ジェオスミン	0.00001以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.000001	3
	2-メチルイソボルネオール	0.00001以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.000001	3
基	非イオン界面活性剤	0.02以下	mg/L	固相抽出-HPLC法 固相抽出-吸光度法 *1	500mL	<0.002 <0.01 *1 <0.005 *3	2
	フェノール類	0.005以下(フェノールに換算)	mg/L	固相抽出-誘導体化-GC/MS法	500mL	<0.0005	3
基	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3以下	mg/L	全有機炭素計測定法	50mL	<0.2 <0.3 *1	2
	pH値	5.8~8.6	-	ガラス電極法	100mL	<0.1 *3	2
基	味	異常でないこと	-	官能法	-	-	-
	臭気	異常でないこと	-	官能法	-	-	-
基	色度	5以下	度	比色法 透過光測定法	100mL	<1 <0.5	2
	濁度	2以下	度	比濁法 積分球式電光度法	100mL	<1 <0.5 *3 <0.1 *5 <0.1	2

注) 淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

- *1 藤井寺、大阪狭山、太子、河南、千早赤阪水道事業の場合
- *2 藤井寺、大阪狭山、太子、河南、千早赤阪水道事業以外の水道事業の場合
- *3 淀川水質協議会共同調査の場合
- *4 淀川水質協議会共同調査(本川、支川)の場合
- *5 処理水の場合

2. 水質管理目標設定項目 (H15.10.10 厚生労働省通知 最終改正R3.4.1)

項目	項目	目標値	単位	試験方法 ^{注)}	検水量 ^{注)}	試験成績表示方法	
						最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数
水質	アンチモン及びその化合物	0.02以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.002	3
	ウラン及びその化合物	0.002以下(暫定)	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.0002	3
	ニッケル及びその化合物	0.02以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.002	3
	1,2-ジクロロエタン	0.004以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0004	2
	トルエン	0.4以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.04 *1,2,3	2
	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08以下	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	80mL	<0.001 <0.008 *1,2,3	2
	亜塩素酸	0.6以下	mg/L	—	—	—	—
	二酸化塩素	0.6以下	mg/L	—	—	—	—
	ジクロロアセトニトリル	0.01以下(暫定)	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	20mL	<0.001	3
	抱水クロラール	0.02以下(暫定)	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	20mL	<0.001 <0.002 *1,2	3
管	農薬類	1以下	—	別表参照	別表参照	0.00	2
	残留塩素	1以下	mg/L	DPD比色法又は吸光度法	20~50mL	0.0	2
	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10~100	mg/L	イオンクロマトグラフィー	1~2mL	<1.0	3
	マンガン及びその化合物	0.01以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001 <0.005 *1,2	3
	遊離炭酸	20以下	mg/L	滴定法	—	<0.1	3
	1,1,1-トリクロロエタン	0.3以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.03 *1,2,3	2
	メチルセブチルエーテル(MTBE)	0.02以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.002 *1,2,3	2
	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3以下	mg/L	滴定法	100mL	<0.1 <0.3 *1,2 <0.2 *3	3
	臭気強度(TON)	3以下	—	官能法	200mL	<1	2
	蒸発残留物	30~200	mg/L	重量法	100mL	0	3
目	濁度	1以下	度	比濁法	100mL	<1 <0.5 *3 <0.1 *4	2
	pH値	7.5程度	—	ガラス電極法	100mL	<0.1 *3	2
	腐食性(ランゲリア指数)	-1~0	—	計算法	—	—	2
	従属栄養細菌	2000以下(暫定)	集落/mL	R2A寒天培地法	1mL	0	2
	1,1-ジクロロエチレン	0.1以下	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001 <0.01 *1,2,3	2
	アルミニウム及びその化合物	0.1以下	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.01 <0.02 *1,2	3
	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタナ酸(PFOA)	0.00005(暫定)	mg/L	固相抽出-LC/MS/MS法	500mL	<0.000005	3

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある
 *1 藤井寺、大阪狭山、太子、河南、千早赤阪水道事業の場合
 *2 藤井寺、大阪狭山、太子、河南、千早赤阪水道事業以外の水道事業の場合
 *3 淀川水質協議会共同調査の場合
 *4 処理水の場合

3. 要検討項目 (H16.1.22 厚生労働省通知 最終改正R3.4.1)

項目	項目	目標値	単位	試験方法	検水量	試験成績表示方法	
						最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数
要	銀及びその化合物	—	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001	3
	バリウム及びその化合物	0.7	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001	3
	ビスマス及びその化合物	—	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.005	3
	モリブデン及びその化合物	0.07	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001	3
	アクリルアミド	0.0005	mg/L	—	—	—	—
	アクリル酸	—	—	—	—	—	—
	17-β-エストラジオール	0.00008(暫定)	mg/L	—	—	—	—
	エチニル-エストラジオール	0.00002(暫定)	mg/L	—	—	—	—
	エチレンジアミン四酢酸(EDTA)	0.5	mg/L	誘導体化-溶媒抽出-GC/MS法	100mL	<0.0005	3
	エピクロロヒドリン	0.0004(暫定)	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0003	2
検	塩化ビニル	0.002	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0001	2
	酢酸ビニル	—	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0003	2
	2,4-ジアミノトルエン	—	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	200mL	<0.001	2
	2,6-ジアミノトルエン	—	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	200mL	<0.001	2
	N,N-ジメチルアニリン	—	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0001	2
	スチレン	0.02	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0001	2
	ダイオキシン類(コプラナー-PCBを含む)	1(暫定)	pg-TEQ/L	固相抽出-GC/MS法	50L	<0.1	2
	トリエチレンテトラミン	—	—	—	—	—	—
	ノニルフェノール	0.3(暫定)	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.003	2
	ビスフェノールA	0.1(暫定)	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.001	2
討	ヒドラジン	—	—	—	—	—	—
	1,2-ブタジエン	—	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0001	2
	1,3-ブタジエン	—	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0001	2
	フタル酸ジ(n-ブチル)	0.01	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	80mL	<0.0001	2
	フタル酸ブチルベンジル	0.5	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	80mL	<0.0001	2
	ミクロキスチン-LR	0.0008(暫定)	mg/L	—	—	—	—
	有機すず化合物	0.0006(TBTO*)(暫定)	mg/L	—	—	—	—
	ブromoクロロ酢酸	—	mg/L	溶媒抽出-誘導体化-GC/MS法	50mL	<0.001	3
	ブromoジクロロ酢酸	—	mg/L	溶媒抽出-誘導体化-GC/MS法	50mL	<0.001	3
	ジブromoクロロ酢酸	—	mg/L	溶媒抽出-誘導体化-GC/MS法	50mL	<0.001	3
項	ブromo酢酸	—	mg/L	溶媒抽出-誘導体化-GC/MS法	50mL	<0.001	3
	ジブromo酢酸	—	mg/L	溶媒抽出-誘導体化-GC/MS法	50mL	<0.001	3
	トリブromo酢酸	—	mg/L	溶媒抽出-誘導体化-GC/MS法	50mL	<0.004	3
	トリクロロアセトニトリル	—	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	20mL	<0.001	3
	ブromoクロロアセトニトリル	—	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	20mL	<0.001	3
	ジブromoアセトニトリル	0.06	mg/L	溶媒抽出-GC/MS法	20mL	<0.001	3
	アセトアルデヒド	—	mg/L	溶媒抽出-誘導体化-GC/MS法	50mL	<0.001	3
	MX	0.001	mg/L	—	—	—	—
	キシレン	0.4	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.001	2
	過塩素酸	0.025	mg/L	—	—	—	—
目	N-ニトロジメチルアミン(NDMA)	0.0001	mg/L	固相抽出-LC/MS/MS法	250mL	<0.000005	2
	アニリン	0.02	mg/L	—	—	—	—
	キノリン	0.0001	mg/L	—	—	—	—
	1,2,3-トリクロロベンゼン	0.02	mg/L	—	—	—	—
	ニトリロ三酢酸(NTA)	0.2	mg/L	—	—	—	—
	ペルフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS)	—	mg/L	固相抽出-LC/MS/MS法	—	<0.000001	—

*有機すず化合物の評価値は、トリブromoアミン(TBTO)の目標値

4. その他項目

項目	項目	単位	試験方法 ^{注)}	検水量 ^{注)}	試験成績表示方法	
					最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数
そ	気温	°C	棒状水銀温度計	—	—	3
	水温	°C	熱電対温度計	—	—	3
の	透明度	m	透明度板法	—	0.0 <0.1 *2	2
	電気伝導率	μ S/cm	電極法	100mL	0 0.0*1 <1 *2	3
	浮遊物質(SS)	mg/L	ろ過法	200mL	0 <1 *2	3
	総アルカリ度	mg/L	滴定法	100mL	0.0	3
	総酸度	mg/L	滴定法	100mL	0.0	3
	溶存酸素(DO)	mg/L	ウインクラーアジ化ナトリウム変法	100mL	0.00 <0.1 *2	3
他	酸素飽和百分率	%	計算法	—	0.0 0 *2	3
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	直接希釈法	100mL	0.0 <0.1 *2	2
	溶存有機炭素(DOC)	mg/L	燃烧酸化法(GF/Bろ過)	50mL	<0.2	2
	紫外線吸光度(260nm,10又は50mm)	—	吸光光度法	—	0.000 <0.001 *2	3
項	リン酸イオン	mg/L	モリブデンブルー法	50mL	<0.01	3
	総リン	mg/L	硫酸酸性濃縮モリブデンブルー法	50~250mL	<0.01	3
	アンモニア態窒素	mg/L	イオン電極法	100mL	<0.01 <0.02 *2	3
	硝酸態窒素	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<0.1 <0.2 *3	3
	総窒素	mg/L	触媒酸化変換法	100mL	<0.1	3
	溶存マンガン	mg/L	ホルムアルドキシム法	20mL	<0.01	2
	クロロフィルa	mg/L	アセトン抽出法	50mL	<0.001	3
	クロム及びその化合物	mg/L	ICP-MS法	50mL	<0.001 <0.002 *2	3
	臭化物イオン	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<0.01	2
	硫酸イオン	mg/L	イオンクロマトグラフ法	1~2mL	<2.0 <1.0 *1	3
目	塩素要求量	mg/L	塩素添加+DPD比色法	50~100mL	<0.1	2
	溶存オゾン濃度	mg/L	インジゴ法	20mL	<0.01	3
	蛍光強度	—	蛍光光度法	—	<0.01	3
	大腸菌群	MPN/100mL	特定酵素基質培地法(MMO-MUG培地)	100mL	<1.0 <1.8 *2	2
	生物	個又は群体/mL又はL	ろ過法及び遠心沈澱法	0.1~1 L	0 2 *2	2
	クリプトスポリジウム等 嫌気性芽胞菌	オーンスト/10L (原水) 集落/100mL	シヨ糖浮遊+免疫磁気ビーズ法 メンブランフィルター法	10L (原水) 10~50mL	0 0	2 2

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

*1 水道事業の場合
*2 淀川水質協議会共同調査の場合
*3 淀川水質協議会共同調査(本川、支川)の場合

5. 消毒副生成物生成能

項目	項目	単位	試験方法 ^{注)}	検水量 ^{注)}	試験成績表示方法	
					最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数
目	クロロホルム生成能	mg/L	PT-GC/MS法	200mL	<0.001	2
	ジブロモクロロメタン生成能	mg/L	PT-GC/MS法	200mL	<0.001	2
	ブロモジクロロメタン生成能	mg/L	PT-GC/MS法	200mL	<0.001	2
	ブロモホルム生成能	mg/L	PT-GC/MS法	200mL	<0.001	2
	総トリハロメタン生成能(THMFP)	mg/L	PT-GC/MS法	200mL	<0.001	3

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

6. 農薬類 (H15.10.10 厚生労働省通知 最終改正R3.4.1)

項目	項目	項目	目標値	単位	試験方法 ^{注)}	検水量 ^{注)}	試験成績表示方法	
							最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数
水質管理目標値	1	1,3-ジクロロプロペン (D-D)	0.05	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0005	2
	2	2,2-DPA (ダラボン)	0.08	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0008	2
	3	2,4-D (2,4-PA)	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002	2
	4	EPN	0.004	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00004	2
	5	MCPA	0.005	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00005	2
	6	アシュラム	0.9	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.009	2
	7	アセフェート	0.006	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00006 <0.0002 *1	2
	8	アトラジン	0.01	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0001	2
	9	アニロホス	0.003	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00003	2
	10	アミトラズ	0.006	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00006	2
	11	アラクロール	0.03	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2
	12	イソキサチオン	0.005	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00005	2
	13	イソフェンホス	0.001	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00001	2
	14	イソプロカルブ (MIPC)	0.01	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0001	2
	15	イソプロチオラン (IPT)	0.3	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.003	2
	16	イブフェンカルバゾン	0.002	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00002	2
	17	イブロンホス (IBP)	0.09	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0009	2
	18	イミノクタジン	0.006	mg/L	LC/MS/MS法	50mL	<0.0005	2
	19	インダノファン	0.009	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00009 <0.0004 *1	2
	20	エスプロカルブ	0.03	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2
	21	エトフェンブロックス	0.08	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0008	2
	22	エンドスルファン (ペンゾエピン)	0.01	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0001	2
	23	オキサジクロメホン	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002 <0.0004 *1	2
	24	オキシ銅 (有機銅)	0.03	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0003	2
	25	オリサストロピン	0.1	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.001	2
	26	カズサホス	0.0006	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00001	2
	27	カフェンストール	0.008	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00008	2
	28	カルタップ	0.08	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0008	2
	29	カルバリル (NAC)	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002	2
	30	カルボフラン	0.0003	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.000005	2
	31	キノクラミン (CAN)	0.005	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00005	2
	32	キャプタン	0.3	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.003	2
	33	クミルロン	0.03	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0003	2
	34	グリホサート	2	mg/L	誘導体化-HPLC	20mL	<0.02	2
	35	グルホシネート	0.02	mg/L	誘導体化-HPLC	20mL	<0.0002	2

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

*1 淀川水質協議会共同調査の場合

項目	項目	目標値	単位	試験方法 ^{注)}	検水量 ^{注)}	試験成績表示方法		
						最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数	
水質管理目標値	36	クロメプロップ	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002	2
	37	クロルニトロフェン (CNP)	0.0001	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00001 <0.00002 *1	2
	38	クロルピリホス	0.003	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00003	2
	39	クロロタロニル (TPN)	0.05	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0005	2
	40	シアナジン	0.001	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00001	2
	41	シアノホス (CYAP)	0.003	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00003	2
	42	ジウロン (DCMU)	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002	2
	43	ジクロベニル (DBN)	0.03	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2
	44	ジクロロボス (DDVP)	0.008	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00008 <0.0005 *1	2
	45	ジクワット	0.01	mg/L	LC/MS/MS法	50mL	<0.0001	-
	46	ジスルホトン (エチルチオメトン)	0.004	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00004	2
	47	ジチオカルバメート系農薬	0.005 (二硫化炭素として)	mg/L	HS-GC/MS法	10mL	<0.00005	2
	48	ジチオピル	0.009	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00009	2
	49	シハロホップチル	0.006	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00006	2
	50	シマジン (CAT)	0.003	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00003 <0.00005 *1	2
	51	ジメタメリン	0.02	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0002	2
	52	ジメエート	0.05	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0005	2
	53	シメリン	0.03	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2
	54	ダイアジノン	0.003	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00003	2
	55	ダイムロン	0.8	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.008	2
56	ダゾメット、メタム(カーバム)及びメチルイソチオシアネート	0.01 (メチルイソチオシアネートとして)	mg/L	PT-GC/MS法	50mL	<0.0001	2	
57	チアジニル	0.1	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.001	2	
58	チウラム	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002	2	
59	チオジカルブ	0.08	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0008	2	
60	チオファネートメチル	0.3	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.003	2	
61	チオベンカルブ	0.02	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0002	2	
62	テフリルトリオン	0.002	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00002 <0.00008 *1	2	
63	テルブカルブ (MBPMC)	0.02	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0002	2	
64	トリクロピル	0.006	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00006 <0.0001 *1	2	
65	トリクロルホン (DEP)	0.005	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00005 <0.0005 *1	2	
66	トリシクラゾール	0.1	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.001	2	
67	トリフルラリン	0.06	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0006	2	
68	ナプロバミド	0.03	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2	
69	パラコート	0.005	mg/L	LC/MS/MS法	50mL	<0.00005	-	
70	ピペロホス	0.0009	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00001 <0.00005 *1	2	

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

*1 淀川水質協議会共同調査の場合

項目	項目	目標値	単位	試験方法 ^{注)}	検水量 ^{注)}	試験成績表示方法		
						最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数	
水	71	ピラクロニル	0.01	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0001	2
	72	ピラゾキシフェン	0.004	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00004	2
	73	ピラゾリネート(ピラゾレート)	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002 <0.0004 *1	2
	74	ピリダフェンチオン	0.002	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00002 <0.0002 *1	2
	75	ピリプチカルブ	0.02	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0002	2
質	76	ピロキロン	0.05	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0005	2
	77	フィブロニル	0.0005	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.000005	2
	78	フェニトロチオン(MEP)	0.01	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0001	2
	79	フェノプカルブ(BPMC)	0.03	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2
	80	フェリムゾン	0.05	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0005	2
管	81	フェンチオン(MPP)	0.006	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00006	2
	82	フェントエート(PAP)	0.007	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00007	2
	83	フェントラザミド	0.01	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0001	2
	84	フサライド	0.1	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.001	2
	85	ブタクロール	0.03	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0003	2
目	86	ブタミホス	0.02	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0002	2
	87	ブプロフェジン	0.02	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0002	2
	88	フルアジナム	0.03	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0003	2
	89	プレチラクロール	0.05	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0005	2
	90	プロシミドン	0.09	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0009	2
標	91	プロチオホス	0.007	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00007	2
	92	プロピコナゾール	0.05	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0005	2
	93	プロピザミド	0.05	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0005	2
	94	プロベナゾール	0.03	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0003	2
	95	プロモブチド	0.1	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.001	2
設	96	ペノミル	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002	2
	97	ベンシクロン	0.1	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.001	2
	98	ベンゾピシクロン	0.09	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0009	2
	99	ベンゾフェナップ	0.005	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00005	2
	100	ベнтаゾン	0.2	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.002	2
項	101	ベンディメタリン	0.3	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.003	2
	102	ベンフラカルブ	0.02	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0002	2
	103	ベンフルラリン(ベスロジン)	0.01	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0001	2
	104	ベンフレセート	0.07	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0007	2
	105	ホスチアゼート	0.003	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.00005	2

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

*1 淀川水質協議会共同調査の場合

項目	項目	目標値	単位	試験方法 ^{注)}	検水量 ^{注)}	試験成績表示方法		
						最小値未満の表示方法	最大有効数字桁数	
水質 管 理 目 標 設 定 項 目	106	マラチオン(マラソン)	0.7	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.007	2
	107	メコプロップ(MCPP)	0.05	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0005	2
	108	メソミル	0.03	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0003	2
	109	メタラキシル	0.2	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.002	2
	110	メチダチオン(DMTP)	0.004	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00004	2
	111	メトミノストロピン	0.04	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0004	2
	112	メトリブジン	0.03	mg/L	LC/MS/MS法	100mL	<0.0003	2
	113	メフェナセット	0.02	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.0002	2
	114	メブロンル	0.1	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.001	2
	115	モリネート	0.005	mg/L	固相抽出-GC/MS法	500mL	<0.00005	2

注)淀川水質協議会共同調査では試験方法及び検水量が異なる場合がある

*1 淀川水質協議会共同調査の場合

工業用水 水質基準等及び試験方法一覧

1. 工業用水水質基準 大阪広域水道企業団工業用水道事業給水条例第19条

項目	基準値	単位	試験方法
濁度	30以下	度	透視比濁法
水素イオン濃度(pH値)	6.0~8.3	-	ガラス電極法

(一社)日本工業用水協会 工業用水道供給標準値

項目	標準値	単位	試験方法
濁度	20	度	透視比濁法
水素イオン濃度(pH値)	6.5~8.0	-	ガラス電極法
アルカリ度	75	mg/L	滴定法
硬度	120	mg/L	ICP-MS法又はイオンクロマトグラフ法
蒸発残留物	250	mg/L	重量法
塩素イオン	80	mg/L	イオンクロマトグラフ法
鉄	0.3	mg/L	ICP-MS法
マンガン	0.2	mg/L	ICP-MS法